

～新年度のご挨拶～

地域連携室部長 林 純一

令和5年は春先より、気温の乱高下にて荒れた天気が出没し、コロナの第9波(?)や、世界の各地で戦火が拡大する等あまり歓迎できない春になりましたが、皆さんご多忙のことと思います。小出病院連携室には、平素よりご協力賜り、御礼申し上げます。

魚沼基幹病院を核とした魚沼医療圏の再編は着実に進行し、構成する南魚沼、十日町と魚沼の3医療圏内の連携ガイドも作られ、広域での運用が試される時代になりつつあります。地勢学的特徴も異なり、交通の便も不良で、面積も広い魚沼でどのような結果をもたらすか注目されます。

医療圏再編の目的のひとつは、「病院完結型」の医療から「地域完結型」の医療への転換ですが、幾つもの課題を残しながらも徐々に進行しています。魚沼では、とりわけ歴史的に3局化した地勢と地域特性、人口減、圏内交流の不便さ等に対しどのような支援が有効か。共通項である厳しい暮らしと環境をどう乗り越えるかを軸として知恵を集めることが期待されます。

地域包括ケアの真髄は何と云っても多職種による効率的なネットワークですが、とりわけ、情報共有とその伝達に習熟することだと思います。例えば、入院時家族やケアマネから生活情報を得る際、退院後に何が問題となるか見当をつけるとか、カンファランスでは、あらかじめ質問事項を募って効率的な話し合いを目指す等も大切かと思えます。

ところで、小出病院では、本年より各病棟に退院支援専任看護師を配置し、退院支援連携の円滑化と効率化を図りますので、よろしくお願ひします。連携室の体制は昨年同様ですが、MSWが1名増員となりました。みなさまには、引き続き連携室にご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

地域連携室に新たなメンバーを迎えて



～地域連携室からのお知らせ～

- ・4月からMSWが1名採用になり、フレッシュなメンバーを迎えMSWは4名に増えました。退院支援を充実させるとともに外来患者への介入を進めていきたいと考えています。
- ・今年度から各病棟に退院支援専任看護師を配置しました。病棟と地域連携室の橋渡しの役割を担っていきます。始めたばかりでまだまだ手探り状態ですが、病棟はじめ多職種間の連携を強化し、さらにきめ細やかな退院支援を行えるよう体制を整えてまいります。
- ・昨年の地域包括病棟の開設に伴い病床の機能分化が進み、患者の転棟が今まで以上に多くなっています。転棟の際は地域連携室の担当も変更になりますが、しっかり情報を伝達するとともに、他医療機関、介護福祉の方々とは今まで以上に連携をとり、スムーズな退院支援を行えるよう努めていきます。
- ・今年度の連絡会は障害福祉分野中心の開催を考えています。

地域連携室科長 細貝めぐみ

病棟担当

	連携室看護師	医療ソーシャルワーカー	退院支援専任看護師
2病棟	森山洋子	橘 洋平 (諸橋章成)	磯部絹代
3病棟	南雲菜美	滝沢美智子 (諸橋章成)	渡辺 瞳
4病棟		武沢 陽	佐藤佑果

～地域連携室新任あいさつ～



医療ソーシャルワーカー
諸橋章成

4月より地域医療連携室で医療ソーシャルワーカーとして勤務しております。地元魚沼市の為に少しでもお力になれる様に頑張っていきたいと思っております！！
至らない点もあるかとは思いますが「連携」を意識して一年を過ごしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

～小出病院からのお知らせ～

5月よりコロナ分類が変更になりますが、当院では面会およびカンファレンスも、当面は今まで同様の制限で対応させていただきます。ご迷惑をかけることが多々ありますが、不安なく過ごせるよう努めてまいります。

魚沼市立小出病院
地域医療連携室
TEL:025-792-2111(代表)
FAX:025-793-7069(直通)